

# 平成30年度 技術科 年間指導計画(第3学年)

## 1.教科の目標

・生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

## 2.評価の観点及び趣旨

- ・生活や技術への関心・意欲・態度
- ・生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとしている。
- ・生活を工夫し創造する能力
- ・生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指し、自分なりに工夫し創造する。
- ・生活の技能
- ・生活に必要な基礎的な技術を身につけている。

## 知識理解

- ・生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。

学期	月	単元名	配当時間	学習内容	各単元における観点別評価基準 評価資料・評価場面							
					生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活への技能	生活や技能についての知識・理解				
1	4	○情報に関する技術 コンピュータのしくみと基本操作 コンピュータの構成 コンピュータの利用	6	コンピュータの構成 タイピング練習 (タッチタイピングの練習) 実技テスト(タイピング) 文書作成(タイピングを利用し、wordを使つての文書作成。 作表・表計算 (エクセルを使用し、表の作成などを行う。 ・プレゼンテーション (パワーポイントを使用、実際にプレゼンを行う。 生物育成 (レモンバームの栽培) 5月種まき、水やり、観察 6月水やり、観察 7月水やり、観察、開花	ソフトウェアを使用し、積極的に活用しようとしている。 ・生物を育てる技術が私たちの生活にどのようにかかわっているかに興味を持ち、進んで調べようとしている	ソフトウェアを活用し、目的に応じて、使用できる。 ・生物育成の条件を理解し、工夫して作物を栽培している。	ソフトウェアの基本的な操作ができる。 ・基本的な栽培技術を理解し、栽培計画を立て実践することが出来る。	ソフトウェアの操作の仕方を理解し、説明できる。 ・作物の適した生育条件を理解している。 ・作物に必要な養分や土の構造、植物の体の働きについて理解している。				
	5				評価の資料	評価の資料	評価の資料	評価の資料				
	6				・授業中の活動の観察 ・自己評価 ・プリント	・実技テスト ・ノート ・作品 ・補助教材	・実技テスト ・ノート ・作品 ・補助教材	・定期テスト ・ノート				
	7	◎生物育成 レモンバームの栽培・観察										
2	9	○情報に関する技術 ・コンピュータの利用 (文書作成・表の作成・表計算など)	7	ソフトウェアを使用し、積極的に活用しようとしている。	ソフトウェアを活用し、目的に応じて、使用できる。	ソフトウェアの基本的な操作ができる。	ソフトウェアの操作の仕方を理解し、説明できる。					
	10							評価の資料	評価の資料	評価の資料	評価の資料	
	11							・授業中の活動の観察 ・自己評価 ・プリント	・実技テスト ・ノート ・作品 ・補助教	・実技テスト ・ノート ・作品 ・補助教	・定期テスト ・ノート	
	12											
3	1	・情報モラル ・情報技術の特性 ・プログラムの役割について	4.5	・コンピュータの仕組み ・情報通信ネットワークの仕組み ・情報セキュリティ技術、情報の安全な利用	・よりよい社会を築くために、情報に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 ・情報に関する技術に関わる倫理観を身に受け知的財産を創造・活用しようとしている。	ソフトウェアを活用し、目的に応じて、使用できる。・目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。 ・情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動している。	ソフトウェアの基本的な操作ができる。 ・簡単なぷりぐらむを作成できる。	情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。 ・コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みについて知識を身に付けている。				
	2								評価の資料	評価の資料	評価の資料	評価の資料
	3								・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・プリント	・作品 ・プリント ・補助教材	・作品 ・プリント ・補助教材	・ワークシート ・小テスト
配当時数			###									